

祝 辞

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
特別支援教育調査官 庄司 美千代

第54回全日本聾教育研究大会埼玉大会が、埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園、埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園を主管校として開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

全国の特別支援学校（聴覚障害）におかれましては、新型コロナウイルス感染症の流行拡大による学校の臨時休業や感染防止に留意しながらの学校再開など、これまで経験したことの無い事態に向き合いながら子供たちの教育にあたっておられることに、心より感謝申し上げます。

このような状況下で、本大会の開催方法を動画配信やWeb会議システムなどの活用に変更し、授業研究分科会や研究協議分科会や記念講演が予定通り開催されることとなりました。多くの研究会が中止を余儀なくされている中、ICTを活用した開催方法により大変多くの参加申込があったことは、まさに「ピンチはチャンス」にしてくださった主管校を始めとする関係の皆様のご尽力によるものと思います。

本大会は、「自ら学びを深め、たくましく生きる力を育むろう教育」をテーマとして開催されます。大会テーマに込められた子供の主体性を伸長すること、既習の知識や技能などを広げ深めること、学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成、たくましさや粘り強く取り組む態度の育成などは、新しい学習指導要領等で重視されており、これからの社会を担う子供たちに必要な資質・能力を育成する上で大変意義深いものと考えます。

これまでとは異なるICTを活用した開催となりますが、本大会を通して、子供の実態の捉え方や指導の意図、学習や調査の結果に対する解釈や成果をもたらした要因などについて、子供の発達を見通しながら率直に議論し合うことが、専門性の継承・共有につながるものと考えます。対面での開催ではないからこそ、授業や研究に対し「自分はどのように考えるか」、「自分は何を学んだか」、「自分ならどのように実践するか」といった意見を各参加者が積極的に出し合い、聴覚障害教育として継承・発展すべきことを共有する機会となることをご期待申し上げます。

結びとなりますが、本大会の開催準備に御尽力された主管校はじめ関東地区や関係の皆様は厚く御礼申し上げますとともに、全日本聾教育研究会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。